

1. コース制について

○生活コース ○社会コース ○職業コース

・コース選択の視点・・・どのコースで学べば無理なくさらに力を伸ばすことができるか

※夏季休業中に実施する入学相談（諸検査、面接等）で相談します。

・コース毎に学級編成

※学年を上がるときに、所属コースが適正かどうかについての見直しをおこない、必要があればコースを変更する場合があります。

・学年全体や学年を越えたコース全体での活動

2. 各コースについて

○生活コース

[目標]

- ・情緒の安定を図りながら、基本的な生活習慣を身につける。
- ・集団生活に必要な知識、技能、態度の育成を目指す。

[学習内容]

- ・自立活動（感覚、動作）
- ・基礎学習（国語・数学・認知）
- ・日常生活の指導（更衣、排泄、食事、清掃、ウォーキングなど）
- ・教科等を合わせた指導が中心（日常生活の指導、生活単元学習など）
- ・チャレンジ学習（生活単元学習の一環としての社会体験学習）
- ・作業学習

○社会コース

[目標]

- ・基本的な生活習慣を確立し、社会参加を目指す。
- ・周囲の人々と協調して生活できる力をつける。

[学習内容]

- ・自立活動（感覚、動作、認知、コミュニケーションなど）
- ・日常生活（更衣、排泄、食事、清掃、ランニングなど）
- ・生活単元学習（主として校外での社会体験学習）
- ・基礎学習（国語・数学）
- ・作業学習
- ・教科別の学習（道徳・保健体育・音楽・家庭・美術・理科・社会）

○職業コース

[目標]

- ・人と豊かに関わり健全な生活を送るための力をつける。
- ・社会の一員となり働くために必要な力をつける。

[学習内容]

- ・教科別の学習（道徳・保健体育・音楽・家庭・美術・理科・社会）
- ・作業学習（火曜日 全日 ・木曜日 午前）
- ・職業の時間を利用した進路学習（技能検定を含む）

3. 合同で行う授業

（1）学年のなかで

- ・生活と社会で 保健体育、音楽、家庭、美術など
- ・全コース 総合的な探求の時間など

（2）コースのなかで

- ・作業学習、チャレンジ、生活単元学習 など

4. 肢体不自由部門との交流

- ・行事等（全校行事、学部行事など）学年合同で実施
- ・授業交流…在籍生徒の実態に合わせて実施

5. 卒業後の進路

コースで進路が決まるのではなく、あくまで生徒の実態が中心となります。

- ① 卒業時点での就労を目指す…一般企業、特例子会社、就労継続支援 A 型事業所など
- ② 卒業後 1～2 年での就労を目指す…就労移行支援事業所、職業訓練校など
- ③ 2 年より長い期間で就労を目指す… 就労継続支援 B 型事業所
- ④ 2 年間で次の事業への移行を目指す… 自立訓練事業所
- ⑤ 創作活動・生産活動を中心に生活を楽しむ活動を行う…生活介護事業所
- ⑥ 創作活動・生産活動・社会との交流の場として利用する…地域活動支援センター

6. 卒業後の進路状況（肢体部門を含む）

卒業年度	就職	移行支援	就労継続 B	自立訓練	生活介護	その他	合計
R 5	4	2	16	2	10	1	35
R 4	7	2	20	0	16	3	48
R 3	7	2	16	0	10	5	40
R 2	4	2	26	1	11	2	46
R 1	8	0	24	0	13	0	45
H30	6	5	26	2	12	3	54

「就職」には就労継続 A 型施設を含む。「その他」には進学(職業訓練校)を含む。